

さくら市議会報告会2024 提言書

【提言1】 中高生の居場所作りについて

- ・市内には中高生を対象とした遊び場が無いいため、隣町のアミューズメントパーク等を利用する事が多い。市内への誘致を検討して欲しい。
- ・中高生が安心して集える居場所も無く、学習室等も手狭である。さくらテラスや公民館等の公共施設の開放を検討して欲しい。
- ・中高生が居場所を利用する際に、足となる公共交通が脆弱である。高齢者を含めた交通弱者が自由に市内を移動できるよう、更なる公共交通の充実を求める。

パネリストから以上の意見があった。当市の子ども向け施設は対象が乳幼児、小学生向けで、中高生が積極的に利用したい施設が無い。中高生が市内の居場所で仲間と過ごす時間を共有し、市に愛着を持ち、将来にわたって定住してくれるよう、彼らのニーズに沿う施策の強化が必要と考える。

【提言2】 喜連川地区の活性化について

- ・喜連川地区の豊かな自然と、都市圏から近い利便性を生かし、リモートワークによる移住促進策を進めて欲しい。

パネリストから以上の意見があった。都市部からの移住促進のために、テレワークやワーケーションのためのサテライトオフィス設置や、空き家有効活用等の環境整備必要と考える。また喜連川地区の更なる魅力発信に努め、関係人口増に繋げて欲しい。

【提言3】 氏家駅東口の混雑解消について

- ・朝夕の通勤通学時、送迎の自家用車等で駅前のロータリーが混雑し、渋滞も発生している。また自家用車、路線バス、送迎バス、歩行者等がクロスして大変危険な状況にあるので解消して欲しい。

パネリストから以上の意見があった。氏家駅東口に関しては、都市計画道路整備を始めとしたまちづくり基本構想が進行中であるが、危険な状況を放置するわけにはいけないので、当面の混雑解消策を早急に考えて欲しい。

以上